

保護者様 多機能事業所 ここあ 放課後等デイサービス 評価表

(11人配布→9人回答)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	改善点
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8			1		・部屋の使い方を工夫して活動しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	8			1		・児童指導員配置条件を満たし、保育士・介護福祉士等、専門性のある職員を配置しています。 ・看護師を3人配置し、お子様の健康管理・医療的ケアをしています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※ i になっているか。また、障がい の特性に応じ、事業所の設備等は、バリア フリー化や情報伝達等への配慮が適切にな されているか	8			1		・室内は、クッション材やス ロープを活用し、過ごしやす いようになっています。お子 様の特性に応じて部屋を分 け、ベッドも使用しながら落ち 着いて過ごせるようにしてい ます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境 になっているか。また、子ども達の活動に合 わせた空間となっているか	8			1		・サービス提供前後に掃除や 消毒をして清潔に保てるよ うにしています。
適切 な支 援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、児童発達支援計画※ ii が 作成されているか	9					・モニタリングや保護者面談 等を行い計画を作成してい ます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイ ドラインの「児童発達支援の提供すべき支 援」の「発達支援(本人支援及び移行支 援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援 内容から子どもの支援に必要な項目が適切 に選択され、その上で、具体的な支援内容 が設定されているか	8	1			・課題やこれからできるよ うになってほしい事、本人 の発言で分からないこと があると、家や学校での取 組みや具体的にやっている ことなど聞いてくれる。 家や学校と同じ足並みで やっていこうと言う気持ち が感じられる。	・個人に合った支援内容を考 え、具体的に設定してい ます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われ ているか	9					・適宜支援の仕方について確 認し合い、支援を行ってい ます。
	8 活動プログラム※ iii が固定化しないよう工 夫されているか	8			1		・個人に合わせた課題や様 々な活動を考え、取り組ん でいます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流 や、障がいのない子どもと活動する機会が あるか			1	3	5	・現在コロナ、インフルエン ザ等の感染症対策のため、行 っていません。
保護 者へ の説 明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説 明がなされたか	9					・契約時にお話しさせてい ただいています。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支 援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容 と、これに基づき作成された「児童発達支 援計画」を示しながら支援内容の説明がな されたか	9					・支援計画を作成したら、保 護者に詳しく説明し同意を 得ています。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペア レントトレーニング※ iv 等)が行われているか	5	1		3		・保護者の方から相談があ った場合に助言や支援を行 っています。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの健康や発達の状況、課題につ いて共通理解ができているか	9				・体調に不安がある日に、 日中に様子のLINEをもら い、安心して預けることが できました。	・送迎時にできるだけ詳しく様 子をお話しさせていただい ています。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に 関する助言等の支援が行われているか	8			1		・相談があった時には、助 言や支援を行っています。ま た、半年ごとに面談を行っ ています。
15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援され ているか			1	4	4	・休日に保護者と一緒医 お出かけなどの行事があ るとよりうれしく思います。 ・来年度は保護者会を開催 する予定です。 ・ご意見について、検討して まいります。	

	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	7	1		1	・相談や申し入れに対しできることは迅速に対応し、職員間で周知しています。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8			1	・個々に合わせた配慮をしています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9				・毎月こあ通信を発行しています。 ・自己評価の結果を集計して掲示、ホームページへの掲載をしています。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	9				・個人情報に関する誓約書を交わしています。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	7	1		1	・訓練が実施されているかは分からない。 ・それぞれのマニュアルを作成しております。定期的に会議等で確認・訓練をしております。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3			6	・火災・大雨等の災害時の避難訓練を実施しています。こあ通信等で報告していきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	9				・今後も楽しいと感じてもらえるよう工夫していきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	9				・よく見ていただいております。 ・いつも「何かあったら言ってくださいね」と寄り添っていただいております。 ・今後もお子様、ご家族様に寄り添った支援をさせていただきます。どうぞよろしく願っています。

※ i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

※ ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

※ iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※ iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。